

知らないきや損する

いしかわ暮らしのマネープラン

今回の数字

1ドル

「円安・ドル高」ってどういうこと？ 家計にも為替の影響

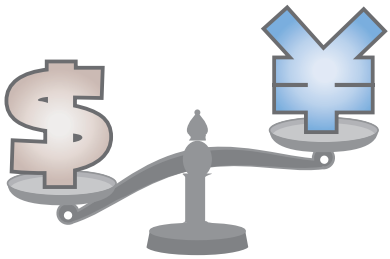
今回は、私たちの生活にも関係する「為替」のお話です。

「あなたは、為替について正しく理解していますか？」例えば、きのうは1ドル100円で、今日は1ドル110円になったとします。これって円高になった？ それとも円安になった？ どちらでしょうか。1ドル100円が110円だから円高と思つたあなた、答えは「円安になった」です。

最初に、「ドル高＝円安」ということ、「ドル安＝円高」ということを覚えましょう。例えば、1ドルが100円から110円になったということは、ドルが10円高くなったわけですから「ドル高＝円安」。逆に1ドルが110円から100円になれば、ドルは10円安くなったわけですから「ドル安＝円高」ということです。

今度は、円をドルに両替して考えてみましょう。今、手元に11,000円あります。1ドル100円で両替すると11,000円÷100円＝110ドルになります。では、1ドル110円で両替すると11,000円÷110円＝100ドルです。円をたくさんドルに両替できたのは「1ドル100円」のときです。つまり、11,000円を両替するときに、1ドル100円より110円の時に両替すると円の金額は少なくなるわけです、これは円の価値が下がったことを意味します。つまり「円の価値」が「他国の通貨」より「下がること」が「円安」です。逆に言うと円安は、「他国の通貨」が「円の価値」より高くなることを意味しています。

では、円高と円安……、私たちの生活にはどっちが得なのでしょう？ 為替の動きと生活の関係について見ていきましょう。日本では輸出企業がたくさんあります。輸出企業とは、海外にモノやサービスを海外に売っている企業のことです。例えば自動車製造の企業が価格100万円の自動車を輸出した場合、1ドル100円な



ら100万円÷100円＝自動車価格は1万ドル、110円なら100万円÷110円＝およそ9000ドルで、110円の方が海外では安く自動車を販売することができるわけですから、輸出企業は「円安」の方がもうけが増え、輸出企業の株価や勤めている人の給与もアップするでしょう。日本にはこのような輸出企業も多いので、日本の景気も上向くでしょう。

しかし、円安は日本の円の価値が下がり、他国の通貨の価値が上がることになるので、他国のモノを買う際の価格は高くなります。輸入が多い日本では、例えば小麦が値上がりすればパンやパスタ、ハムやチョコレート菓子、バターやチーズ、缶詰などなど輸入している製品の価格は値上がりして、家計を圧迫することになるでしょう。また、国産のお肉の多くは輸入していることから、お肉の値上がりも心配です。現在、為替は円安に動いています。私たちの家計は為替の影響を受けることを知って、賢く家計を管理していきましょう。



暮らしのマネープラン相談センター・所長
サートファイアドファイナンシャルプランナー 高橋 昌子

あなたの暮らしと財産を守るパートナー

■時間相談 …… 1時間まで3000円 2時間まで5000円

教育資金・老後資金・相続・住宅ローン・保険の見直しや商品選択、確定拠出年金など何でも相談できます

■マイホーム資金・住宅ローン相談 …………… 3万円

無理のない予算額、頭金や購入時期、最適な住宅ローン・生命保険・火災保険など、マイホーム購入にまつわるマネープランについて何でも、マイホーム購入まで時間を気にせず相談できます

■退職資金・マネープラン相談 …………… 3万円

退職後の手続き、年金や保険、退職資金計画など退職後の生活設計について何でも、時間を気にせず相談できます



暮らしのマネープラン相談センター 金沢市此花町3-2 [ライブ1ビル1F] ☎076-232-2038 要予約

(株)FPサポート研究所 <http://www.fpsl.co.jp/> ●平日/10:00~19:00 ●土日/10:00~17:00